

CS-15V トランシーバー 追加マニュアル

CRKITS.COM March 15, 2020 (JA5GHK, JL1KRA 訳)

CS-xxV シリーズ (旧 KN-Q7A) は、40m/20m の SSB トランシーバキットとして販売されました。2020 年からの CS-xxV(VXO 式後継機) は 15m 帯をサポートしますが、経緯上、本編のマニュアルと PCB の印字は 40m/20m 帯にしか対応していません。15m 帯のキットを作成する際には、本編にこの追加マニュアルを反映してください。

これまでに本編のマニュアルを読んだことのない人は、実際にハンダ付けを始める前に、ダウンロードして精読されることをお勧めします。CS-xxV 関連の資料、旧 KN-Q7A のマニュアルは、<http://jl1kra.sakura.ne.jp/>にて最新版を更新しています。

CS-15V への追加説明

ステップ 1~5

□8.4672MHz の IF 水晶発振子も含めて 40m キットと同じです。CS-40V キットでは IF フィルタの構成が変わっていることに注意してください。

ステップ 6: ミキサと VXO ローカル発振回路

- 2 個の Xb を 15m 用 VXO 水晶発振子に変更します。
- 広範囲の周波数をカバーするには、DIY7-7*のコアをゆっくりと回し込みます。コアを回すときに力を入れ過ぎないように注意してください。
- CS-xxV クイックガイドにあるように、チューニングの直線性の向上のために TUNE 半固定抵抗の側の抵抗 10k を 3.3k に置き換えます。

ステップ 7: RX フロントエンド

□2 個のケース入りコイル DIY7-7/14 を DIY7-21 と 2 個のキャパシタ 15pF に置き換えます。

ステップ 8: TX アンプとローパスフィルタ(LPF)

- 2 個のケース入りコイル DIY7-7/14 を 2 個の DIY7-21 と 2 個のキャパシタ 15pF に置き換えます。前もってコアを下に届くまで回しておいて下さい。コアを回すときに力を入れ過ぎないように注意してください。
- 4 個のキャパシタ 470p/270pF を 4 個の 150pF に置き換えます。
- T37-2(赤色)トロイダルコアへの巻き数 15T/11T を 8 回に減らします。
- FT37-43(黒色)トロイダルコアへの T1/T2/T3 の巻き数を、15T/11T から 8 回に減らします。
- CS-xxV クイックガイドににあるように、47pF のキャパシタをトロイダルコイルに並列になるように追加します。

その他残りの組み立てと調整の工程は、40m 帯のキットと同じです。